

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 16 日 ( 18 : 30 ~ 19 : 30 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 水原 藤田 堀田 宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	13 人	2 人	0 人	15 人

前回の改善計画

- ① ミーティングにて利用者情報を共有する。不参加スタッフに対しても引継ぎをしっかりとる。
- ② 利用開始後は事前情報とズレがあれば、計画作成者をご家族に確認し、その人らしい生活が送れるよう努める。

前回の改善計画に対する取組み結果

情報共有の必要性は理解できているが、十分な時間が取れず不十分さは否めない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	4	9	1	1	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	10	3	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	11	1	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	12	1	0	15

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
ミーティングに参加したり、不参加の場合は申し送りを読むなどして、利用者と積極的に関わるように努めている。本人や家族からの相談は随時受け付け、不安を受け止めるようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
コミュニケーションを積極的に取っていないと感じている職員がいる。職員の力量差や、業務に追われて情報内容を十分に理解できていないこと等が挙げられる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ① 利用者をより知るためケアプランに必ず目を通す。
- ② 利用者との信頼関係を築くため誰もが積極的にコミュニケーションを取るようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 16 日 ( 18 : 30 ~ 19 : 30 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 水原 藤田 堀田 宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	8人	6人	0人	15人

前回の改善計画	
①	ケアプランを読み込む時間を確保し、利用者のニーズやゴールを初期の段階から把握できるようにする。
②	プランに反映されていない言葉で表現できないニーズを汲み取り、計画作成者に情報提供する。
前回の改善計画に対する取組み結果	
ケアプランを回覧し、皆が読むようにしているが、プランに対する反応が薄い。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	8	4	0	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	9	3	1	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	9	5	0	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	10	2	2	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
排泄、食事、入浴等の介助は、援助目標を念頭に置いて実践できている。目標が具体的なので、経験の浅い職員でも理解しやすい。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の意欲を引き出すことができていないと職員が感じている。目標達成を意識した会話が利用とできていなかったり、ケアプランに本人の思いが反映していないため。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
① ケアプランを読み、本人の思いを把握する。 ② 把握ができたなら実践する。 ③ ケアプランを読むだけでなく、本人の思いを傾聴する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 16 日 ( 18:30~19:30 )

3. 日常生活の支援

メンバー 水原 藤田 堀田 宮本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	4人	0人	15人

前回の改善計画

① サービス担当者会議に介護スタッフも参加し、家族との情報共有に努める。  
② 本人の生活暦、趣味や生活状況の把握、非言語による表現からも日々の変化を察知し、ミーティングにて情報を共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果

① サービス担当者会議に担当スタッフは極力参加するようにしたが、日程調整ができず参加できていないスタッフもいる。  
② 利用者を理解するため、全スタッフが担当利用者の中から一人選んで、これまでの人生等事例として発表した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	10	1	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	8	2	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	7	6	1	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	10	2	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	11	1	1	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

基礎的な介護については日々の申し送り等で情報共有し、本人の状況に合わせた介護が概ねできている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

「以前の暮らし方」については余りできていないと思っているスタッフが多かった。ゆっくり話しをする時間を取れない現状である。意図的に関わらないと実現が難しい。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

① 体調の変化については、気付いた時に少人数のミーティングで援助方法を共有する。  
② 利用者の担当スタッフが意識的に情報収集に努める。  
③ 係長や主任は、スタッフの収集した情報を全スタッフに向けて発信する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成28年8月16日(18:30~19:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	新谷 高垣 千原 松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	8人	7人	0人	15人

前回の改善計画	スタッフ間で関わりやの程度に差があるので、家族・介護者・地域にどのスタッフも関われるよう役割分担をする。
前回の改善計画に対する取組み結果	街歩き、外食、ふれあい喫茶等、外出に機会にスタッフが交替で参加できるようにしたが、まだ全スタッフが参加できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	13	1	0	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	3	7	5	0	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	8	7	0	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	5	9	1	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
これまでの生活スタイル等は、本人や家族からの聞き取りで概ね理解できている。家族との関係は、利用時の本人の体調変化等を逐次報告するようにしている。地域との関係は、事業所に近いふれあい喫茶に定期的に参加するようにしている。本人が自宅で過ごしている時には、安否確認の電話をしたり食事を届けたりして把握するよう努めている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
情報を把握している利用者としていない利用者がある。泊まり中心になる利用者とその感が強い。送迎を担当すると利用者の住む地域のこと等をイメージしやすいが、送迎は一部のスタッフに限られてしまい、他のスタッフには見えにくい。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
スタッフの役割分担を見直し、全てのスタッフが偏りなく関われるよう調整する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 16 日 ( 18 : 30 ~ 19 : 30 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 新谷 高垣 千原 松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	8人	1人	15人

前回の改善計画	地域資源に関する情報共有をミーティング等にて実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源についてのミーティングをする機会がもてなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	12	2	0	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	12	1	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	9	2	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	10	3	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 「通い」「泊まり」「訪問」の必要性に応じて、臨機応変に調整し対応できている。申し送りやミーティング等で情報共有するよう努めている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 自分たちの事業所だけで対応してしまいがちである。地域資源情報の収集を意図的にしていないことや、その活用の仕方を知らない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 利用者を中心に、関係する人、店、病院、役所等々を図面に書き込む。壁面等に貼り、情報を得たらその都度書き込むようにし、皆が見てわかるようにする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成28年8月16日(18:30~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 新谷 高垣 千原 松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	8人	2人	15人

前回の改善計画	
① 事業所の存在を地域に浸透させるため、誰でも気軽に来所してもらえるようイベント等を企画する。 ② 自治体の会議や地域のイベントに参加し、知り得た情報をスタッフ全員が共有できるようミーティングや申し送りや報告する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① 特別なイベントは企画できず、課題は持ち越されることになった。 ② ふれあい喫茶への参加は継続できた。自治体の会議は開催情報がなく参加できていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	3	5	3	4	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	2	3	7	15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	4	2	4	5	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	2	9	1	3	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	近隣の保育園児が来所し、歌等を通して利用者と交流している。また、手芸、英語、習字等の講師が定期的に来所し教室を開催している。その他、階下のデイサービスでのコンサート等のイベントに参加している。法人がボランティア受け入れを積極的にしているためと考える。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	他のサービス機関との会議であるサービス担当者会議は、利用者の担当スタッフはできるだけ参加するようにしているが、日程が合わず全スタッフが経験できていない。自治体や地域包括支援センターの会議については、開催情報が得られない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	地域の人と出会う機会を作るため、気候が良い時には利用者と一緒に近所を散歩する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 16 日 ( 18 : 30 ~ 19 : 30 )

7. 運営

メンバー 福元 吉岡 林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	6人	1人	15人

前回の改善計画	会社全体のミーティングを通して、地域の行事や組織をしっかりと把握する。
前回の改善計画に対する取組み結果	年2回の全社ミーティングにて、会社の事業内容や方針、組織体制等は知ることができている。地域行事については十分に把握できたとはいえない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	7	6	1	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	9	1	1	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	9	2	1	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	5	6	3	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
苦情は直ぐに上司に報告し、申し送りでも共有している。ふれあい喫茶の企画に協力したり、運営推進会議で民生委員の方等と意見交換ができている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
会社全体の社風もあり、事業所内で気軽に意見を言える雰囲気がない。送迎車の駐車のこと、近隣からの苦情があり、改善に努めてはいるが十分な理解は得られていない。地域との信頼関係ができにくい背景があるのは、小規模多機能事業所が一般的に認識され難いことも要因の一つではないかと思う。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 社内での自由な意見発信として、意見箱をタイムカードの横に置いてみる。 ② 職員間の交流を図るため飲み会等を増やす。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 16 日 ( 18 : 30 ~ 19 : 30 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 福元 吉岡 林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	9人	1人	15人

前回の改善計画	
① 外部研修に出掛ける機会が少ないので、内部研修の回数を増やす。 ② 認知症に対する研修を定期的に行なう。 ③ スタッフが講師となる研修を増やす。 ④ ヒヤリハット報告書を沢山出すスタッフを評価する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① ~④まで、前年以上増やすことができなかった。できなかった理由を分析し、次回の課題としたい。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	7	4	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	4	2	15
③	地域連絡会に参加していますか	6	1	2	6	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	7	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職場内研修は、毎月の小規模多機能全体のミーティングや年 2 回の全社ミーティングでテーマを決めて実施している。個人的にスキルアップ研修に参加している職員も多い。リスクマネジメントの取り組みとして、ヒヤリハット報告の推進を図っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ヒヤリハット報告の推進を図っているが、申し送りのみで分析まで至っていない。時間不足によるところが大きい。全員参加での研修を開催しづらく、必要性を感じても企画までは至っていないのが現状である。地域連絡会は開催情報が得られない状況にあり、参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
① 職場外研修の案内を全職員が閲覧できるようにする。 ② 職場内で介護技術スキルアップのため個別対応で研修する機会をもつ。 ③ ヒヤリハット報告の分析をミーティングで定期的実施する。	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 8 月 16 日 ( 18 : 30 ~ 19 : 30 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 福元 吉岡 林

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	11人	2人	0人	15人

前回の改善計画	
① プライバシーに関わる会話は声のトーンや場所に注意し、不適切な会話が行なわれた場合は、スタッフ間で注意する。	
② 不適切なケアをしないようミーティング等で定期的に話し合う。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① 大声での会話や不適切な会話に気付いたら注意をするようにしたが、全くなくなることはなかった。	
② 不適切なケアについてミーティングで話し合い、意識付けはできている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	5	1	0	15
②	虐待は行われていない	8	7	0	0	15
③	プライバシーが守られている	4	9	2	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	6	6	1	2	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	7	2	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束は、年 2 回の高齢者虐待研修を通して意識付けされている。認知症のある一人暮らしの方には、成年後見制度を活用している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
スタッフの雑談で利用者を話題にしたり、気付かないうちに不適切な言葉を使っていることがある。排泄介助時に配慮に欠けている場面も見受けられる。注意しているつもりでも、声が大きくなったり、言葉遣いが不適切になったりするの、業務優先でスタッフに余裕がないのも一因と考える。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
① 接遇研修をミーティングで繰り返し実施する。	
② プライバシー保護について、実践場面での振り返りをミーティングで実施する。	